

新規メンバー4人が加わっての本年度第1回カンボジア訪問。シェムリアップ州教員養成学校運動会練習を指導する金田勝巳社員、バイオン中学校体育指導(サッカー)の神崎恭紀社員、ピアノカ60本持参して音楽指導(アラピア演奏)の清水孝子社員、そしてマジック特設授業の平出暁理事。バイオン中学校においては、6月18日の祝日を返上しての登校。また、教員養成学校も19日の日曜日を返上しての運動会。生徒・学生の向学心、そして教師集団の情熱と使命感に支えられながら、私たちを含め関係者全員が成長を感じた共育(きょういく)の場としての訪問になりました。



【注】*ピアノカ60台は三谷小学校寄贈の物
*アラピアはカンボジア国民の愛唱民謡
*6月18日は、国王妃誕生日による祝日
*養成学校⇒小学校教員養成課程(2年)

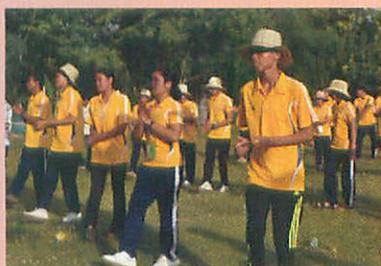


【訪問メモ】6月13日(月)～21日(火)

- 運動会指導(準備も含む)⇒ 計6時間
- 体育指導(教員研修を兼)⇒1・2・3年生計15時間
- 音楽授業(関西学院生指導を兼)⇒2年生計5時間
※学院生研修授業⇒ 2年生2時間(内容同上)
- マジック特設授業⇒2年生3時間
- 新規訪問者アンコール遺跡観光 ⇒ 2日間
- スナードイクマエ孤児院訪問(支援品文具寄贈)
- 子どもの森ギャラリー訪問⇒絵画展用の作品借用(29点)



日本の学校文化輸出事業としての運動会第2弾。雨期に入り午後は熱帯特有のスクールに見舞われつつも、教員養成学校全学生623人の参加のもと、保護者・関係者あわせて300人が見守る中、クメール色満載の創造的な運動会が実現しました。もっとも練習時間を費やした入場行進、ラジオ体操、私たちが目を引いた学生有志が演じる「開会の舞：古典アプサラダンス」、閉会時の全校ダンス(ロック調にアレンジした民謡3曲)。子どもの頃より踊りになじんできているカンボジア人ならではの企画。「いけるぞ！クメール文化と日本文化との交流、そして融合」



カンボジアの子どもたち・先生へ「伸びよ！輝け！学校づくり募金」

募 金：1 口2千円 あなたの2千円で公立学校の無料登校の実現が、さらに中卒者の就職の可能性を拓きます。

※国からの学校運営費は極めて少額で、小中学校では教材費・テスト代等の集金が日常化しており、このことが就学率を停滞させる原因にもなっている。

募 金 先：特定非営利活動法人オアシス 郵便為替：00840-8-123690